snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

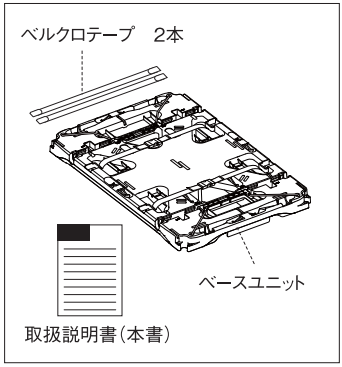
取扱説明書　Ver 1.00

SET-200 ラックソット マルチスターターセット
LV-210　ラックソット ベースユニット

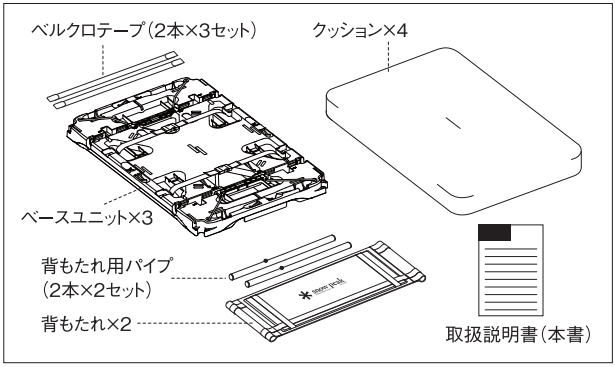
この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はアウトドア用に開発されたソファー、コット、チェア、及び収納棚です。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容（各部の名称）

ご購入後、セット内容のご確認をお願い致します。万が一、セット内容に不足品等がございましたら弊社ユーザーサービス係までご連絡ください。

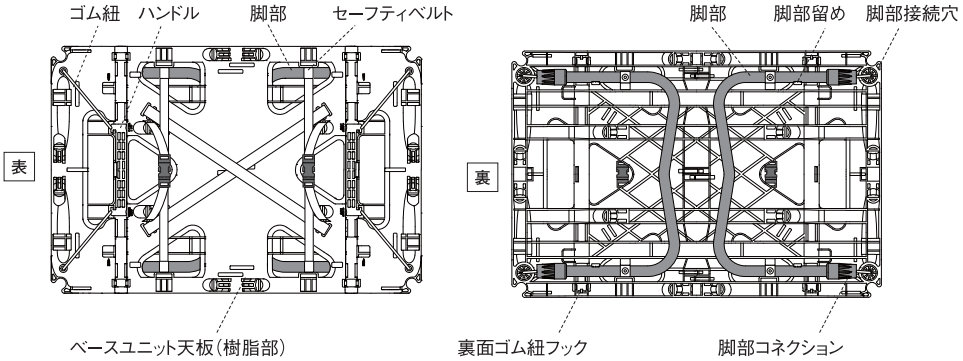


LV-210　ラックソットベースユニット　セット内容



SET-200　ラックソット　マルチスターターセット　セット内容

【ベースユニット詳細】



スペック

【ベースユニット】材　質：ポリプロピレン、ABS,アルミニウム合金
サイズ：750×500×300(h)mm（使用時）、750×500×60(h)mm(収納時)
重　量：2.5kg

【クッション】材　質：ポリエステル（表地）、ナイロン、ウレタンフォーム（中綿）
サイズ：500×750×70(h)mm
重　量：1kg

【背もたれ】材　質：ポリエステル帆布、アルミニウム合金、合板、ポリエチレン、ポリアセタール
サイズ：600×250×35(h)mm
重　量：1kg

安全上の注意事項　ご使用の前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険　明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

■本体を収納棚として車載する場合
・「使用方法」にある収納棚/車載時の状態にしてください。
・本製品がリアガラス、助手席のサイドガラスなどの視界を妨げない様にしてください。
・走行中に、本体及び内容物が車外へ飛散する事の無いようにしてください。
・悪路を走行する時は、積み重ねずに平置きにしてください。本製品の破損や転倒の恐れがあります。
・表記以外にも車載に関して、道路交通法に則ってください。
■その他の危険
・本製品と別売のオプションを併用する場合は、必ず各アイテムの取扱説明書をよくお読みください。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

●本製品の樹脂パーツは、紫外線による劣化、強い衝撃等により破損する事があります。ご使用前に亀裂や部分的に白化している等の異常がないか点検し、異常が見られた場合は使用を中止してください。
●本製品の耐荷重は、ベースユニット1個につき130kgです（ソファー/コット/チェア使用時）。また、収納棚として使用する時は載せる荷物はベースユニット1個につき20kgまで、積み重ねは3段までとしてください。
●カーペットの上など脚部が滑りやすい床面で使用すると、ベースユニット本体（樹脂部）に大きな負担が掛かり破損による転倒の原因となります。ベースユニットを設置した後で、両手で軽く前後に動かし、接地面が滑っている場合は使用しないでください。
●本製品の樹脂部及び生地は難燃性ではありません。ランタンやバーナー、焚火などの火気や、高温の物の付近でのご使用は十分ご注意ください。変形、火災の原因となります。
●商品の改造は絶対にしないでください。機能を損ない強度や耐久性が低下するなどの原因となります。
●ベースユニットの裏面は、一部エッジがあります。手などを傷つけない様に十分注意してください。

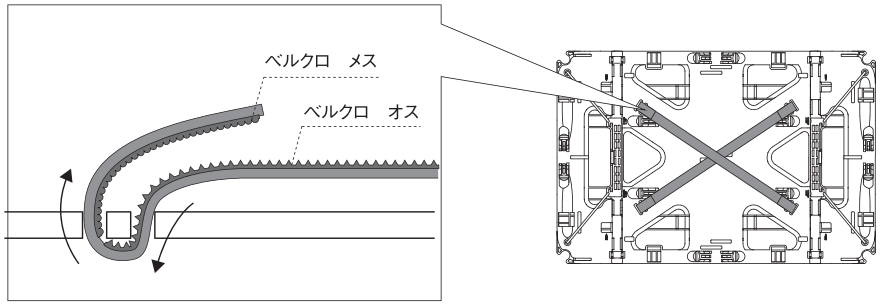
⚠ 注意　ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

●地盤のしっかりした平坦な場所を選び、凹凸のある場所や傾斜地では使用しないでください。
●ソファー/チェア使用時は、必ず背もたれとご自身の背中が触れる体勢で着座してください。
●コット使用時、座面端部（背もたれ部分）は脚が無い状態です。端部に体重を掛けると反対側が持ち上がったり、背もたれが破損する恐れがあります。あくまで頭・足を置く場所とし、端部に腰掛けるなど荷重を掛けない様に注意してください。
（使用方法/コットの項参照）
●コット使用時は必ずお一人でご使用ください。
●組み立て時に指などを挟まない様に十分注意してください。また、組み立て完了後、手で座面や背もたれを押して確実に組み立てが出来ている事を確かめてから着座してください。
●変形や破損の原因となりますので、衝撃を加える、激しくゆする等の行為をしないでください。また、構造的に座面が低いため、着座時には大きな荷重が掛かりやすくなりますので、特にご注意ください。
●小さなお子様が着座する時は常に監視し、十分に注意してください。特に、お子様が座面に乗り、後方をむいて背面にもたれ掛る、ゆする等の行為は危険です。不意に背もたれが外れ、転倒する恐れがあります。また、組み立ては必ず大人が行ってください。
●本製品は常設用ではありません。
●フローリングや畳等の場所で設置すると、床に傷をつける可能性があります。
●保管の際は湿気の少ない風通しの良いところを選んでください。また、濡れたままの保管は、カビや異臭、生地の色移り等の原因となりますので、汚れや水分を取り除き、十分に乾燥させてから保管してください。
●ベースユニットが連結された状態で移動させないでください。設置場所を移す際は一度ベースユニット同士の連結を解いてください。（「使用方法」ベースユニット連結の項を参照）
●ベースユニットを運搬する時は、不意に人や他の財産（壁や車等）に接触しない様に注意してください。
●クッション生地、樹脂パーツ、背もたれ生地は紫外線、摩擦、水濡れなどにより退色する事があります。野外放置は生地及び樹脂の退色や劣化の原因となりますのでご注意ください。
●クッション及び背もたれの生地は水濡れ、汗などにより他の物へ色移りすることがあります。取り扱いには十分注意してください。
●クッションに着座する際、アクセサリー等で先端が鋭い物を身に着けている場合は十分に注意してください。生地の破れや穴あきの原因となります。
●クッションの生地は、洗濯により色落ちをする場合があります。洗濯する場合は、他の洗濯物と一緒に洗わないでください。

ベースユニット　組立方法

ベースユニット　ベルクロテープの取り付

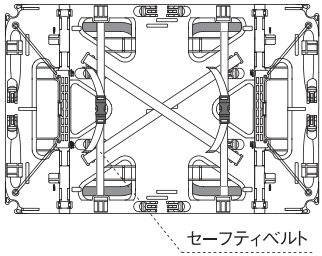
ベースユニット1個につき、ベルクロテープを2本、下図の様に取り付けます。



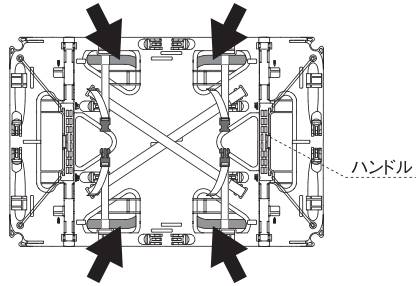
ベースユニット　組立

セーフティベルトを外した後、ベースユニットの表面から脚部を押し込み、脚部留めから外します。その後、本体をゆっくり持ち上げると脚部が展開します。脚部が展開したら、下図のように再びセーフティベルトを取り付けてください。
ゴム紐の力が弱くなり、組み立てがうまくいかなかった場合は、ハンドルを一度外し、ハンドルを持ち上げる事でも脚が展開します。

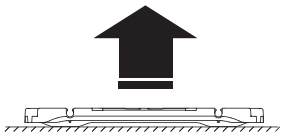
セーフティベルトを外す



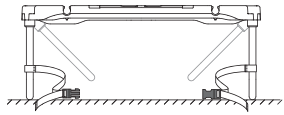
表面から見えている脚部を押す



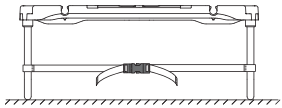
①ゆっくりと本体を持ち上げる



②脚部が展開します



③セーフティベルトを取り付ける（両側）



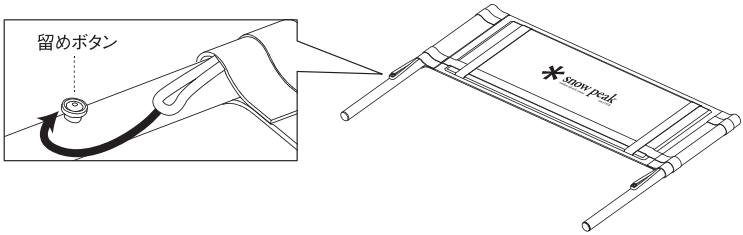
⚠警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- セーフティベルトは必ず取り付けてください。
- ベースユニットの組立後は、必ず脚部接続穴に、脚部コネクションがしっかりとはまっている事を確認してください。
- すばやく本体を持ち上げると、脚部が不意にご自身の方へ向かう可能性があります。また、手や指などを挟まない様、十分に注意してください。

マルチスターターセット　使用方法

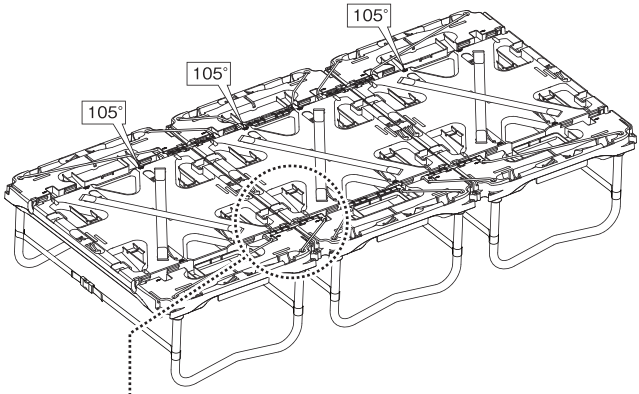
背もたれ　パイプの取り付

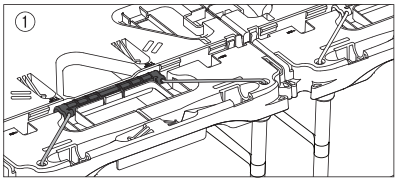
背もたれ本体に、背もたれ用パイプを2本差し込みます。
その後、背もたれ本体に付いているゴム紐を留めボタンに引っ掛けて固定します。

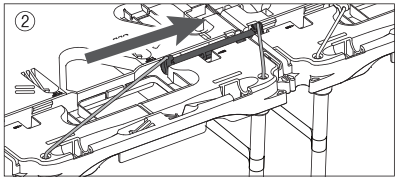


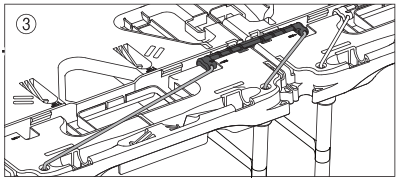
ベースユニット　連結

ベースユニット同士を連結させるには、下図の様にハンドルをスライドさせ、「lock」印字の位置で固定します。
この際、ベースユニット天面の印字「105°」（もしくは115°）が同じ側に来るようにしてください。









ハンドルとゴム紐の接続部を上に向け、相手のベースユニットの方へスライドさせます。
「LOCK」印字のある凹みに、左図の様にハンドルをはめ込みます。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

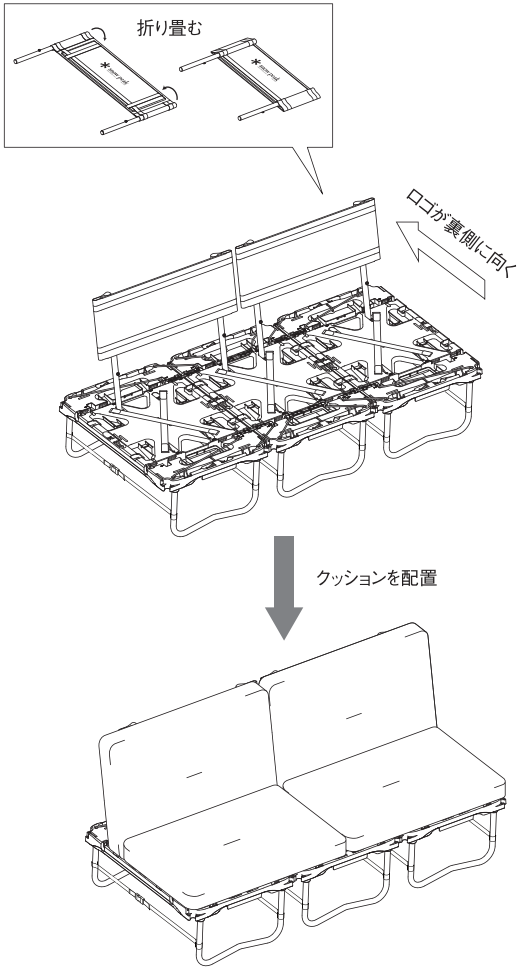
●ハンドルをスライドしている最中にハンドルを離すと、ゴム紐の力によりハンドルが勢いよく戻る事がありますので十分に注意してください。

⚠ 注意　ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

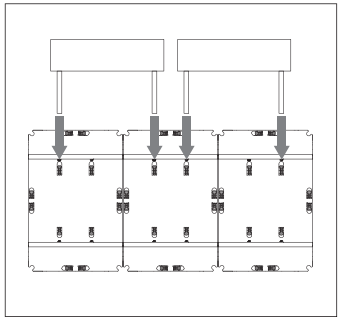
●ベースユニットを連結させた状態で移動させないでください。ベースユニットの樹脂部に無理な力が掛かり、破損する恐れがあります。

ソファー

ベースユニットを3個連結させた状態から、下図の箇所に、背もたれを折り畳んで差し込みます。その後、クッションを配置します。

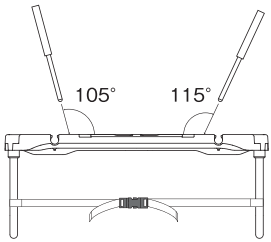


《概略図》



ワンポイント!

天面の印字「105°」の穴に背もたれを差すと背もたれ角度が105°に、「115°」の穴に背もたれを差すと背もたれ角度が115°になります。お好みに合わせて、組み立ててください。

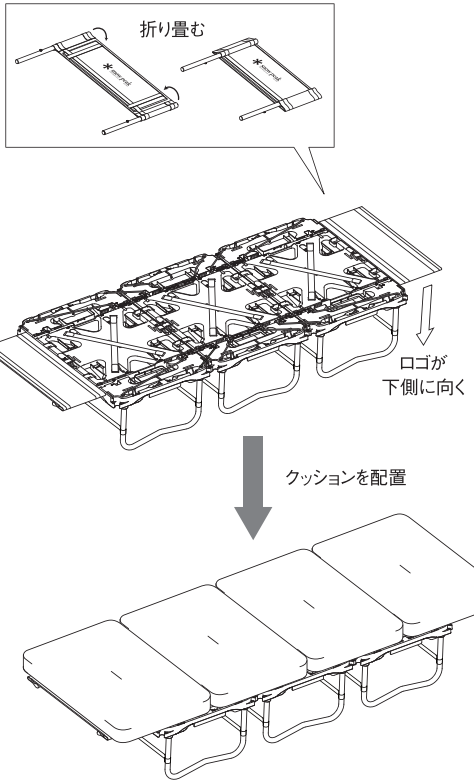


⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

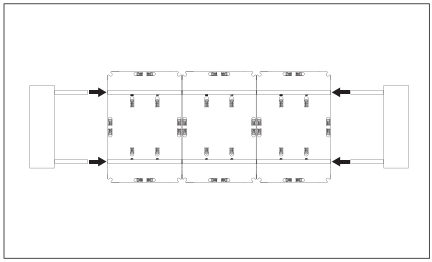
●着座の前に、脚部と背もたれ用パイプがベースユニット天板（樹脂部）にしっかりとはまっている事を確認してください。
●極端に背もたれに荷重が掛かるような体勢はおやめください。

コット

ベースユニットを3個連結させた状態から、下図の箇所に、背もたれを折り畳んで差し込みます。その後、クッションを配置します。

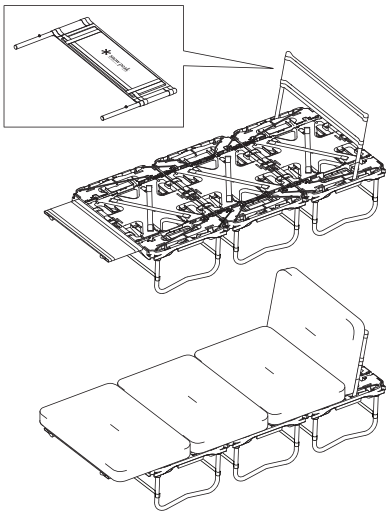


《概略図》



ワンポイント!

下図の箇所に背もたれを差すと、背もたれを立ち上げた状態で使用できます。

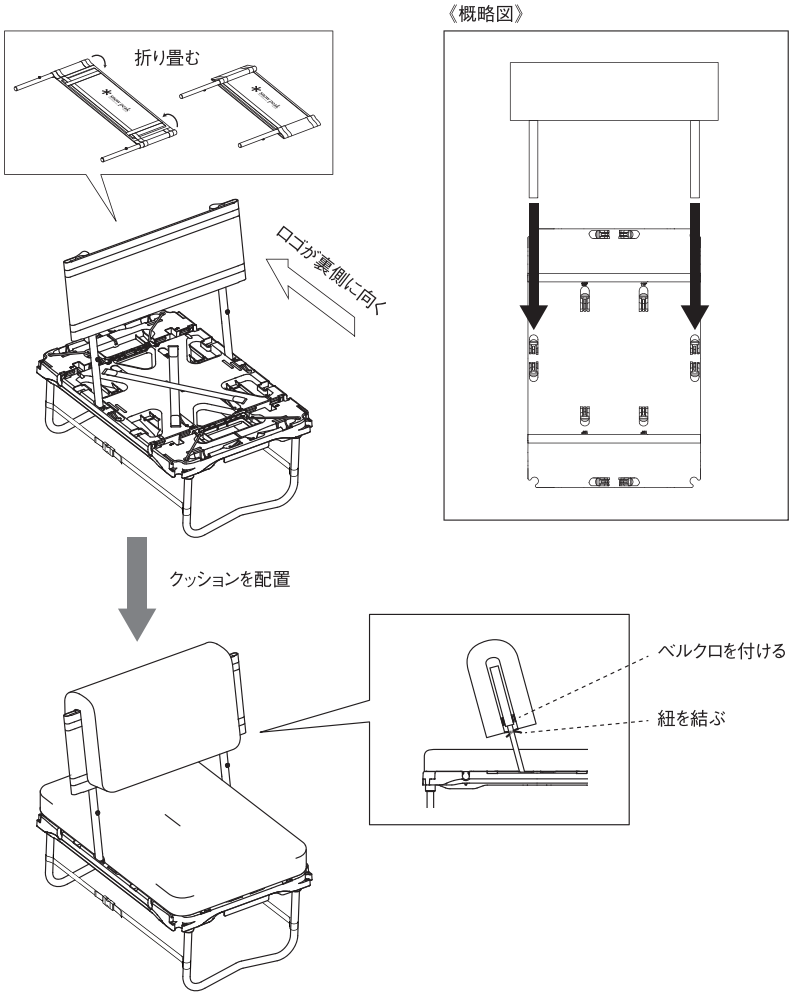


⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- お一人でご使用ください。
- 座面端部（背もたれ部分）は脚が無い状態です。端部に体重を掛けると反対側が持ち上がったり、背もたれが破損する恐れがあります。あくまで頭・足を置く場所とし、端部に腰掛けるなど荷重を掛けない様に注意してください。
- 背もたれを立ち上げた状態で使用する時は、ソファー/チェアでの使用時と同様に必ず背もたれとご自身の背中が触れる体勢着座してください。
- 背もたれを立ち上げた状態で使用する時は、必ずベースユニット同士が接続されているかご確認ください。ベースユニット同士が接続されていない状態で使用すると転倒する危険があります。
- 背もたれを立ち上げた状態で使用する時は、背もたれに体重を預ける前に背もたれ用パイプが、ベースユニット天面（樹脂部）にしっかりとはまっている事を確認してください。

チェア

ベースユニット1個を組み立てた状態から、下図の箇所に背もたれを折り畳んで差し込みます。
クッションを一つ座面に敷き、もう一個は背もたれとして下図の様に取り付けます。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

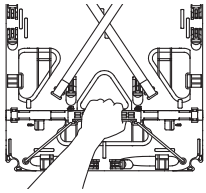
●着座の前に、脚部と背もたれ用パイプがベースユニット天板（樹脂部）にしっかりとはまっている事を確認してください。
●極端に背もたれに荷重が掛かるような体勢はおやめください。

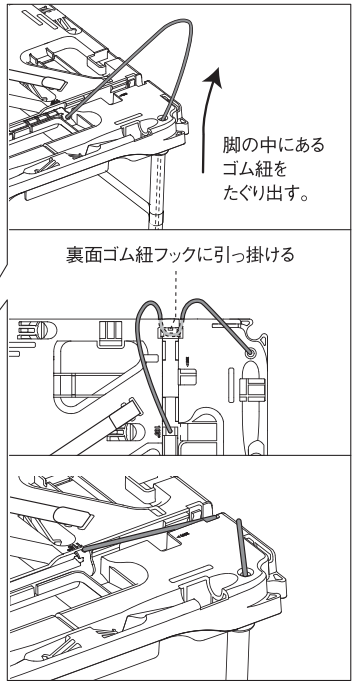
テーブル

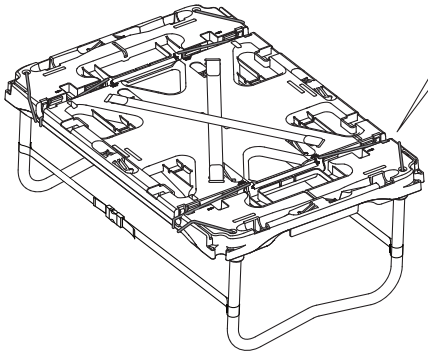
ベースユニット単体は、ウッドテーブルW竹（CK-126T/別売）2枚と併用する事で、テーブルとしてご使用頂けます。

⚠注意

片方の手でハンドルを上図の様に押さえながら作業をしてください。
不意にハンドルが外れて手などにあたる可能性があります。

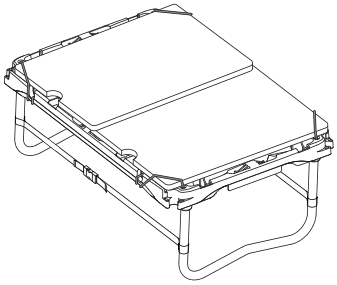




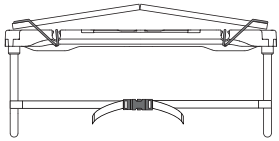


【CK-126T ウッドテーブルW竹の設置】

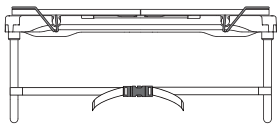
①天面の角をゴム紐に掛けます



②天面の端を合わせる



③ゆっくりと下げる



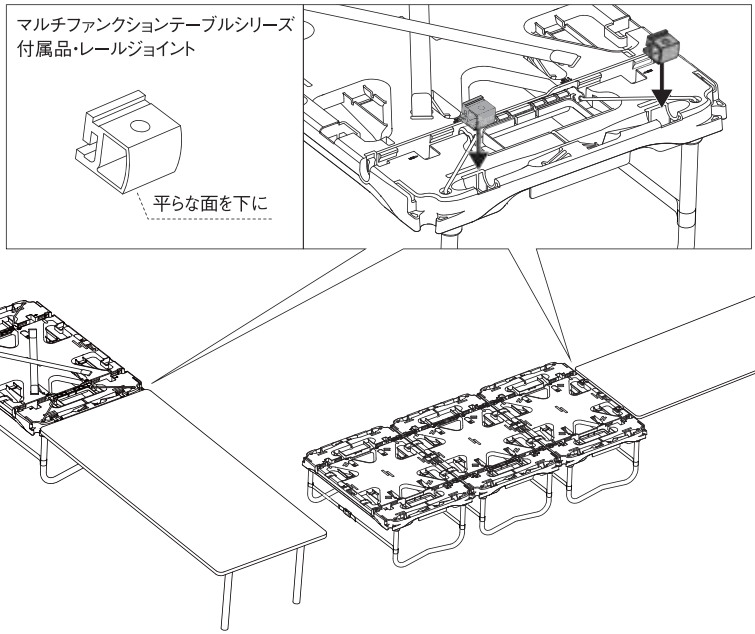
⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- 組み立て時に手や指などを挟まない様に十分注意してください。
- 極端に反ってしまったウッドテーブルW竹（CK-126T /別売）は使用しないでください。不意に天板がずれ、テーブルに載せた物が落下するなどの危険があります。
- テーブル上で火器を使用しないでください。

マルチファンクションテーブル竹シリーズ　接続

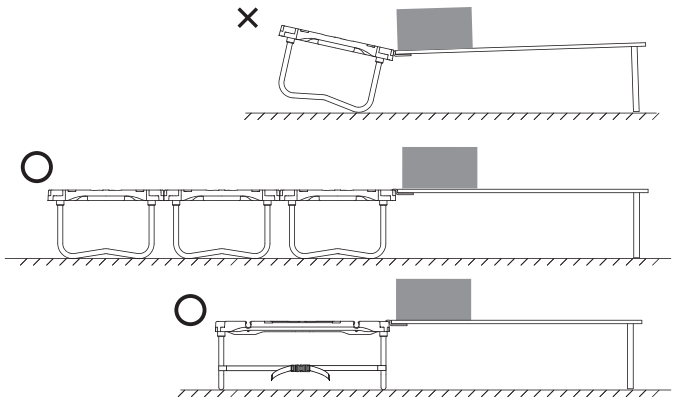
ベースユニットにマルチファンクションテーブル竹（CK-116T/別売）、マルチファンクションテーブルロング竹（CK-117T/別売）、マルチファンクションテーブルコーナーL竹（CK-118T/別売）、マルチファンクションテーブルコーナーR竹（CK-119T/別売）を接続できます。

※マルチファンクションテーブルシリーズに取り付ける脚は、アイアングリルテーブル300脚セット（CK-109/別売）をご使用頂くか、IGT2WAY脚ショートセット（CK-109/別売）を300mmにセットしてご使用ください。



⚠注意

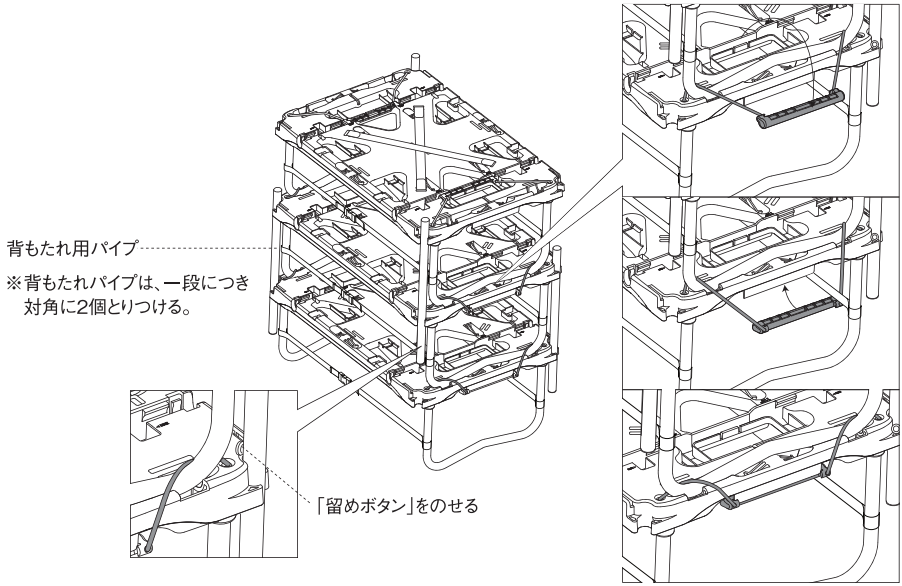
ベースユニットの長手方向の側にマルチファンクションテーブルを取り付ける場合は、ベースユニットが3個以上繋がっている状態にしてください。連結部付近に物を置くとバランスを崩し、倒れる可能性があります。（短手方向側は、ベースユニット1個から取り付け可能です。）



⚠警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- 併用する各アイテムの取扱説明書をよくお読みください。
- マルチファンクションテーブルシリーズのテーブルトップに置く荷物は30kg以内としてください。また、マルチファンクションテーブルシリーズに腰を掛ける等の負荷を与えないでください。接続部分が破損して転倒する恐れがあります。

収納棚

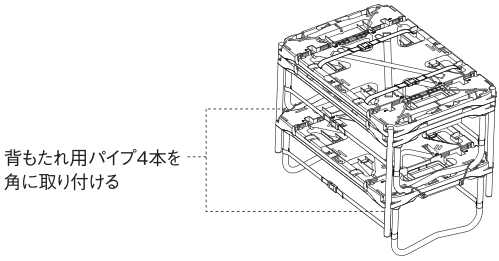


⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- 載せる荷物はベースユニット1個につき20kgまで、ベースユニットの積み重ねは3段までとしてください。
- 必ず水平で十分に広い安全な場所で設置してください。地震や他の外的要因により転倒する恐れがあり、それに伴う負傷や他の財産の破損等が考えられます。

収納棚/車載時

車載時は、4本の背もたれ用パイプを取り付けます。ベースユニットの残りの一枚は、下図の様に重ねるか、別に1段の棚としてご使用ください。



⚠危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 本製品がリアガラス、助手席のサイドガラスなどの視界を妨げない様にしてください。
- 走行中に、本体及び内容物が車外へ飛散する事の無いようにしてください。
- 悪路を走行する時は、積み重ねずに平置きにしてください。本製品の破損や転倒の恐れがあります。
- 表記以外にも車載に関して、道路交通法に則ってください。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- 不意に積み重ねたベースユニットが倒れる可能性がありますので、必ず背もたれパイプは4本取り付けてください。

点検・手入れのしかた

●ゴム紐が劣化し、ゆるくなった場合は、弊社ユーザーサービス係で交換対応（有償）をご依頼ください。
●使用後は汚れ、水分などをよく取り除いて、風通しの良い日陰で保管してください。
●樹脂部分、アルミニウムの部分は薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後水を浸した布で洗剤をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、日陰で自然乾燥させてください。
●クッションを洗う際は、中のウレタンを取り除き、生地部分のみを洗濯ネットにいれて洗濯してください。
●背もたれは、芯材に木を使っている為、洗濯機で洗えません。汚れが付着した場合は水分を浸した布を固く絞り、叩く様にして拭きとった後、日陰で自然乾燥させてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

修理について

●製品の改造は絶対にしないでください。機能や強度が低下します。改造品の修理はお受けできません。
●本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
●修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
●修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させて頂きます。
1.補償対象の場合:往復運賃並びに修理費は、弊社にて負担いたします。
2.補償対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
0120-010-660（9:00～17:00）
Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA